

# j5運転管理ソフトを使う10の定量的メリット

運転管理ソフトを導入することで、数多くの定量的メリットが期待できます。本紙では、j5 運転管理ソフトを導入したお客様からお聞きした“実際にプロセス内での大幅な定量的改善が実現できた例”をまとめ、以下10の定量的メリットをご紹介します。

1

## 1日あたり1人30分節約 (マネージャ職)

[j5 Applications](#)の導入後に大幅な時間の節約ができました。導入前は、不要な電話、書類処理、会議、手動データ入力などがありました。これらに使われていた時間を、j5システムですべて管理することによって大幅に削減することが出来ました。自動ログ入力やレポート作成などの自動化されたサービスによって大きなメリットが得られました。

2

## PDCAサイクル100% 達成 (Plan-Do-Check-Act)

PDCA (Plan-Do-Check-Act 又は Plan-Do-Check-Adjust) は、プロセスと製品の管理と継続的な改善の為にビジネスで使用される4つのステップを使った反復型管理方法です。デミング・ホイール、シュート・サイクル、及びPDSA (Plan-Do-Study-Act)としても知られています。長年にわたってこのKPIで100%達成に努めてきたお客様は、最終的にj5システムを導入することでこのマイルストーンを達成することが出来ました。

3

## 引継ぎ時間1人あたり30分節約

j5導入前は、書類、エクセル、ワード、他の散在したデータベースなど手作業による方法で、重要なシフト情報を管理していました。異なるシステム間での情報収集や、記憶を頼りに情報を収集することに時間を費やしていました。[j5 Shift Handover](#)を使い、引継ぎプロセスに要する時間を30分節約することが出来ました。これは、多くのイベントが発生した場合の引き継ぎに特に有効でした。

4

## 1セクションあたり最大5つのログブックの削減

j5導入前は、様々な職務やエリア毎に異なったログブックを使用していました。j5の高度なフィルタリング、アクセス許可、レポート機能により、関連した必要な情報のみを閲覧することが出来ます。[j5 Operations Logbook](#)を導入後、製造現場・サイトで必要とされるログブックの数を減らすことができました。定量的数字として、j5システムを導入し1プラントエリアにつき約1~5のログブック数の削減し、業務を簡素化することが出来ました。

5

## スーパーバイザ1人1日あたり2時間の節約

[j5 Operations Logbook](#)を使用しているスーパーバイザは、各自の担当エリアでの時間を節約出来ました。システム導入前は書類、エクセル、その他散在したデータベースなどから手動でログをまとめる必要がありました。しかしj5システム内に収集されたインテリジェントデータによって、スーパーバイザがログブックにログを記載する必要がなくなりました。

6

### 情報収集の時間節約

製造現場では、リアルタイムの情報を全員が容易に入手できることが非常に重要です。紙ベースのログブックは、通常フォルダや書棚で保管され、特定の情報を見つけるプロセスが面倒な作業になります。エクセルやネットワーク未接続のデータベースは、ITのインフラ全体に分散する可能性が有ります。お客様は、同じプラットフォーム上で簡単に検索可能な情報を持つことで、検索等に要する時間を節約することが出来ました。

7

### 会議時間1日30分短縮

j5導入前は、お客様は業務全体で何が起きているのかを明確に把握していない為、不要な会議の設定を強いられていました。現在、お客様は不要な会議を排除して、1人当たり1日30分の節約を実現できました。[j5 Dashboards and Reports](#) を通してシステム全体にわたる情報の可視化が可能となり、定期的でなく必要な時に会議を行うことを可能にしました。

8

### エキスパートへの通告時間1日30分節約

[j5 Inspection Rounds](#) を使用することで、現場での問題を関係者に通告する際に大幅な時間節約が実現できました。このモバイルアプリケーションは、特定の問題を解決する担当者に、データとアラート（メールやSMSなど）をリアルタイムで送信します。（例えば、プラント機器の特定の部品にサービスを提供する資格を持つ機器エンジニアなど）

9

### 工事業者リストで3時間短縮

j5導入前は、多くの工事業者のスケジュールを管理することは非常に大変でした。（優先順位付けや、スケジュールの確認・再確認など）これらの作業が時間通りに終わらないと混乱や遅延に繋がります。お客様はこのプロセスに整合性をとり、今では冷静に考える時間を持ちながら、毎日の工事業者のスケジュールを時間通りに指示することが可能になりました。

10

### ヒヤリハット統計処理 月間50時間節約

j5導入前は、書類、メール、共有のエクセルファイルなどを使用し、ヒヤリハットを記録していました。[j5 Incident Management](#) を使うことで、ヒヤリハット統計処理を効率的に行うことができ、月間50時間の処理時間の節約を可能にしました。いくつかのサイトでは月間約5,000件ものヒヤリハットの可視化を実現し管理の向上につなげています。



詳細については、<http://www.j5japan.com> をご参照下さい。